

学校名

与論町立那間小学校

実施単元

	単元名	学年	教科
1	与論島と海とわたしたち	4年	ゆんぬ学
2	ユンヌの海と環境問題	5年	ゆんぬ学
3	ユンヌの魅力発信	6年	ゆんぬ学

取り組みの概要

1 はじめに

令和4年度より、与論町全ての小中学校において、海洋教育科「ゆんぬ学」が始まっている。海洋教育「ゆんぬ学」は、海洋教育そのものが目指す「海と人との共生」に迫ることはもちろん、与論の子供たちに「島だちの力≒非認知能力」を身に付けさせることをねらいとしている。このねらいを達成するために、地域と連携した協働的な探究学習を展開することの重要性を夏休みに全職員で共通理解した。

2 活動内容

4年・・・「サンゴ増殖体験」

与論町漁業協同組合の協力のもと、サンゴ増殖体験を行った。与論島のサンゴの現状や環境問題による海への影響等、話を聞き、与論の海の今について知ることができた。サンゴを守る活動の一つとして増殖体験を実際に行い、漁協の方の願いを実感することができた。今回の活動やビーチ清掃体験を通して、海を守るために自分たちに何ができるかを具体的に考えることができた。



5年・・・実践発表「ヨロン海洋教育フェア」

5年生は、1年間の学びを生かして、自分たちにできることを「ヨロン海洋教育フェア」で発表した。5年生は、海と環境問題をテーマに、いろいろな活動を行ってきた。5月には、環境課の光さんの指導の下、海岸清掃を行い、7月には、B&Gの方の協力で、海遊び体験を実施した。他にも、海謝美の方や池田龍介さんの講話、サンゴ増殖体験などの学びを行った。それらの体験活動や授業を通して、「与論の海は、一見、とてもきれいだが、毎日のように海岸ごみが漂着していること」や「海は繋がっているため、環境問題に全世界で取り組まなければならないといけないこと」等、一人一人が与論の海に対する課題意識をもつことができた。その課題意識の下、調べ学習やインタビュー、アンケートにより情報を収集し、自分たちが与論の海のためにできることを考え、発表することができた。



6年・・・活動実践「島めぐり・海体験」

島内の観光地や施設をバスで回る島巡りを行った。ガイド役に川畑こずえさんを迎え、観光地の詳しい説明を聞き、クイズ形式で歴史について学ぶことができた。また、グラスボートを借り、与論の海体験も行った。講師に福留俊二さんを迎え、与論の美しい海やサンゴ礁、そこに住む生き物たちの様子について観察することができた。活動の中で感じた与論の魅力について、自分たちが発信したいものは何かを考え、課題として追及する活動へと繋げた。



3 おわりに

今年度は、研修を通して、全職員で海洋教育のねらいを改めて共通理解することができた。ただ、学習を進める中で、学年間で活動の重なりが見られた。今後、学習したことが積み重ねられるよう、学習内容の見直しを進めていきたい。また、地域人材の積極的な活用を通して、ゆんぬ学を本校の特色ある教育活動の一つとして推進していきたい。